

通期の見通し

平成14年度の販売電力量については、生産の持ち直しから産業用需要が回復傾向を続けることに加え、電灯や業務用を中心とした生活関連需要もプラスの伸びが見込まれることから、前年度比1.3%増の2,790億kWhと2年ぶりにプラスの伸びを見込んでおります。

売上高については、販売電力量が前年度を上回るものの、今年4月から実施している電気料金引下げの影響などから、連結で4兆8,700億円程度、当社単独では4兆7,600億円程度になるものと見込んでおります。

経常利益については、一連の原子力問題に関わる点検等のため、原子力プラントの停止が重なることから、燃料費の負担増により大幅な悪化が見込まれるものの、前年度において一時的に増加した使用済核燃料再処理費の減少や、金利の低下などに伴う支払利息の負担減に加え、修繕費の削減など業務運営全般にわたる効率化を一層推進することにより、連結で2,100億円程度、当社単独では2,200億円程度を確保したいと考えております。

< 連結 >

売上高	4兆 8,700億円
経常利益	2,100億円
当期純利益	1,280億円

< 単独 >

売上高	4兆 7,600億円
経常利益	2,200億円
当期純利益	1,400億円